



川岸学園NEWS

～異年齢の子ども達がつながる新たな環境づくりをめざして～ 第19号

義務教育学校と認定こども園の名称を募集します!!

「義務教育学校」と「認定こども園」の両施設について、総称名を「川岸学園」とすることは、前号でお伝えしたとおりですが、地域に根ざし、愛される施設となるよう、「義務教育学校」と「認定こども園」の名称案を募集します。ぜひご応募ください。



募集内容

両施設の()に入る名称を募集します。「校名」・「園名」として使いたい言葉でも構いません。

義務教育学校の名称	岡谷市立()義務教育学校
認定こども園の名称	岡谷市立()認定こども園

募集期間

令和8年1月13日(火)から
2月13日(金)まで

(郵送の場合、締切日消印有効)

応募資格

- ①岡谷市内にお住まいの方
- ②川岸小学校、岡谷西部中学校、保育園4園(川岸・成田・つるみね・夏明)、川岸地区にゆかりのある方
※年齢は問いませんので小さなお子さまでも応募できます。

応募方法

①応募用紙による応募

下記のとおり、施設に設置されている応募用紙、または岡谷市のホームページからダウンロードした応募用紙に必要事項を記入の上、いずれかの方法でご応募ください。

- ▶ 川岸小学校、岡谷西部中学校、成田保育園、川岸保育園、川岸公民館、こどものくに、岡谷市役所 1階 に設置の応募箱へ投函してください。
- ▶ 応募用紙に記載の宛先まで「郵送」または「FAX」でご応募ください。

②Webサイトによる応募

応募フォーム(右記URL 又は QRコード)にアクセスし、必要事項を入力して応募してください。



▲ 岡谷市HPはこちら

▼ 応募フォームはこちらから



<https://x.gd/rsRPs>

川岸小ありがとうの会

冬の柔らかな日差しが校舎を照らす12月23日(火)、川岸小学校の廊下は、いつにも増して温かな熱気に包まれました。

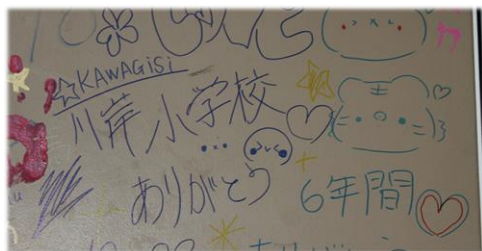
この二学期を最後に、長年私たちを見守ってくれた校舎の取り壊しが始まります。「大好きだったこの学び舎に、最後にお礼を伝えたい」そんな子どもたちの純粋な願いが、児童会企画「川岸小ありがとうの会」として形になりました。

白い壁が語り出す、150年の感謝

普段なら「落書きをしてはいけません」と教える場所ですが、この日は別です。体育館や図書館前の壁は、子どもたちの思いを解き放つ巨大なキャンバスへと変わりました。

手に絵の具を塗りたくり、夢中で色を重ねる子。「150年間ありがとう」と一筆一筆に魂を込める子。壁には、色鮮やかな花々や、輝く太陽、そして共に過ごした仲間たちの笑顔が次々と描かれていきました。

かつてこの廊下を走り抜けた保護者の皆様や地域の皆様にとっても、その筆跡のひとつひとつに、ご自身の幼き日の情景が重なるのではないのでしょうか。



「寂しさ」を「未来」への力に変えて

児童会長の中村さんは、色とりどりに染まった壁を前に、晴れやかな表情でこう語ってくれました。

大成功です。みんなが喜んでくれて本当にうれしかった。この校舎がなくなるのは寂しいけれど、私たちの心には思い出としてしっかり残っています。新しく生まれ変わる『川岸学園』に、この思いを繋いでいきたいです。

最後は、全校児童で記念写真を撮影しました。校舎に刻まれた子どもたちの歓声と色彩は、たとえ形はなくなっても、私たちの記憶の中で永遠に色あせることはありません。

懐かしい校舎が無くなるという現実とは、地域の皆様にとっても、胸に迫るものがあるかと思います。しかし、子どもたちは悲しみ以上に感謝と期待を持って明日を見つめています。「正解」のない壁に、自らの感性で「意味」を描き込んだこの日の経験は、これからの予測不能な時代を生き抜く子どもたちにとって、大きな糧となるに違いありません。



**長きにわたり校舎を愛してくださった皆様、本当にありがとうございました。
新しく刻まれる小中学校の歩みを、これからも温かく見守りください。**

